

特別支援学校卒業後の進路や学びに関する調査 (小中学部対象) の報告について

I. 概要

- 1. 調査目的
- 2. 調査概要

II. 児童・生徒及び

その保護者の調査結果

- 1. 調査結果の概要
- 2. 主な調査項目の結果
 - (1) 学校卒業後の進路
 - (2) 在学中の学びのニーズ
 - (3) 学校卒業後の学びのニーズ

III. 今後の方針

- 学校卒業後の障害者の「学びの場」づくりへの反映

特別支援学校卒業後の進路や学びに関する調査

I. 概要

1. 調査目的

都立特別支援学校小学部及び中学部に在籍する児童・生徒の保護者に対し、将来、卒業後の進路等に対する意向を調査し、多様な進路のあり方について検討するための材料とする。

2. 調査概要

■ 調査対象

都立特別支援学校小学部及び中学部に在籍する児童・生徒の保護者

■ 調査期間

令和7年9月29日（月）から令和7年10月17日（金）まで

■ 調査方法

Web フォームによる回答

■ 調査回答数

特別支援学校小学部児童の保護者 2,388

特別支援学校中学部生徒の保護者 1,202

回答数合計 3,590

II. 児童・生徒及びその保護者の調査結果

1. 調査結果の概要

(1) 学校卒業後の進路

ア 中学部卒業後に希望する進路先

- ・小学部の保護者の約75%、中学部の保護者の約94%が、中学部卒業後に
「特別支援学校高等部への進学」を希望

イ 高等学校段階卒業後に希望する進路先

- ・小学部の保護者の約31%、中学部の保護者の約46%が、高等学校段階卒業後に
「福祉サービスの利用」を希望
- ・小学部の保護者の約48%、中学部の保護者の約32%が、高等学校段階卒業後の進路は
「まだ検討していない」と回答

(2) 在学中の学びのニーズ

- ・小学部の保護者の約80%、中学部の保護者の約74%が、「学校外でも積極的に学ばせたい」、「学校外でも学ばせたい」と回答

(3) 学校【高等部（高等学校等を含む）】卒業後の学びのニーズ

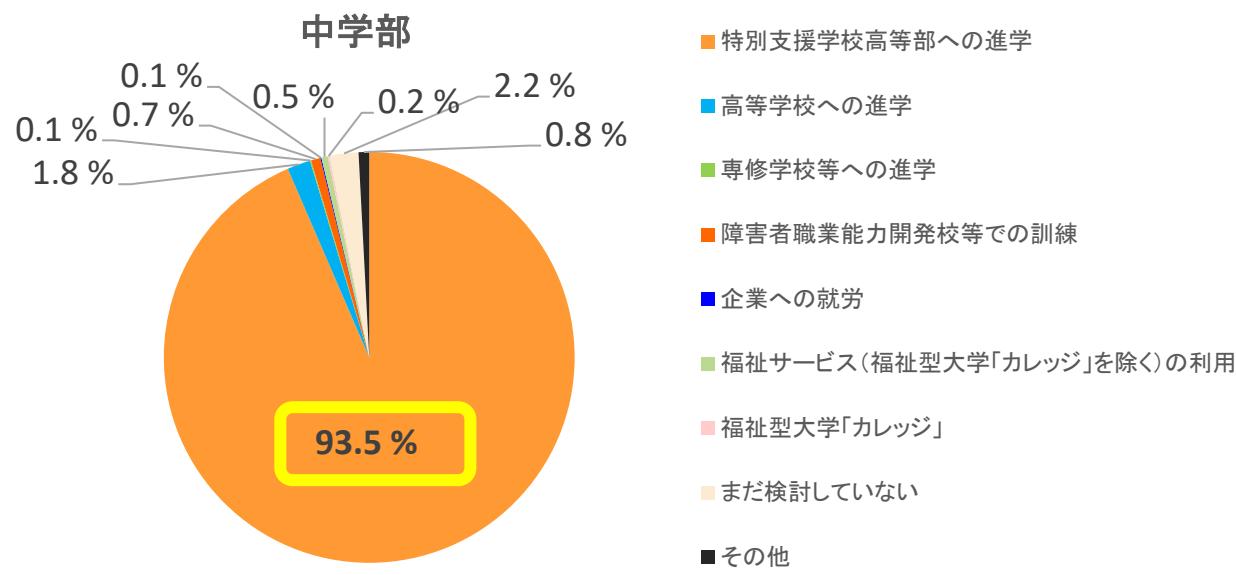
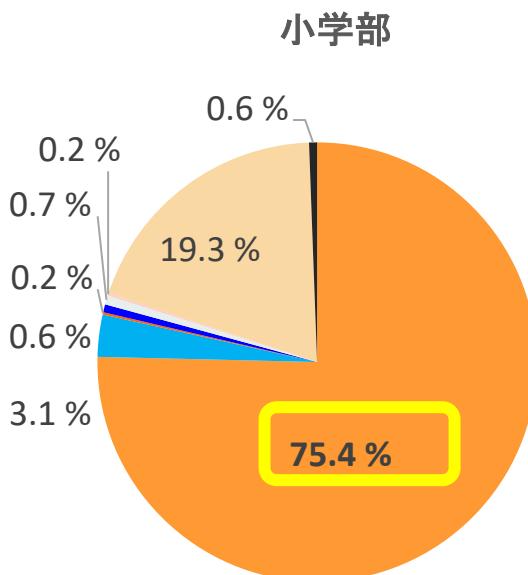
- ・小学部、中学部の保護者のニーズが70%台と最も高い傾向にあるのは、
「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」、
「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」、「仲間づくり、交流活動」
- ・小学部、中学部の保護者のニーズが50~60%台で次に高い傾向にあるのは、
「学校で学んだ内容の維持や再学習」、「旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動」、
「音楽や絵画などの文化芸術活動」

2. 主な調査項目の結果

(1) 学校卒業後の進路

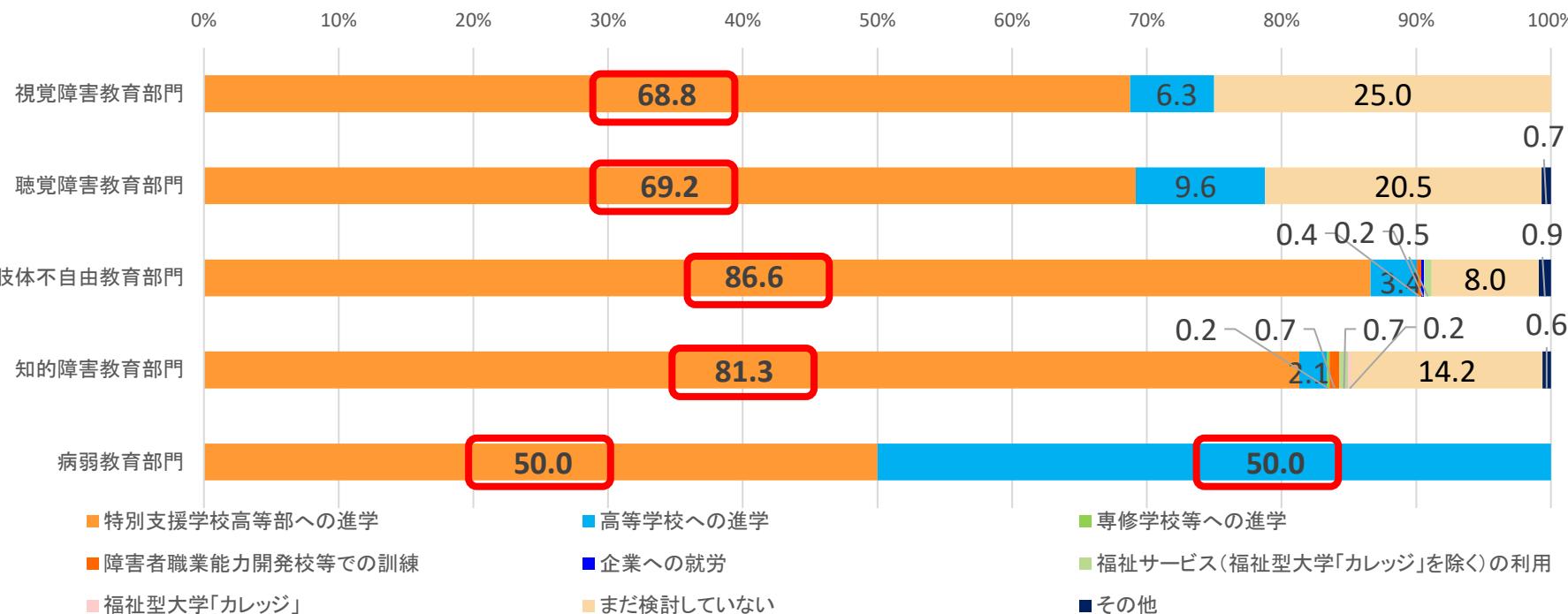
ア 中学部卒業後に希望する進路先

	小学部	中学部
特別支援学校高等部への進学	75.4%	93.5%
高等学校への進学	3.1%	1.8%
専修学校等への進学	0.2%	0.1%
障害者職業能力開発校等での訓練	0.6%	0.7%
企業への就労	0.0%	0.1%
福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	0.7%	0.5%
福祉型大学「カレッジ」	0.2%	0.2%
まだ検討していない	19.3%	2.2%
その他	0.6%	0.8%



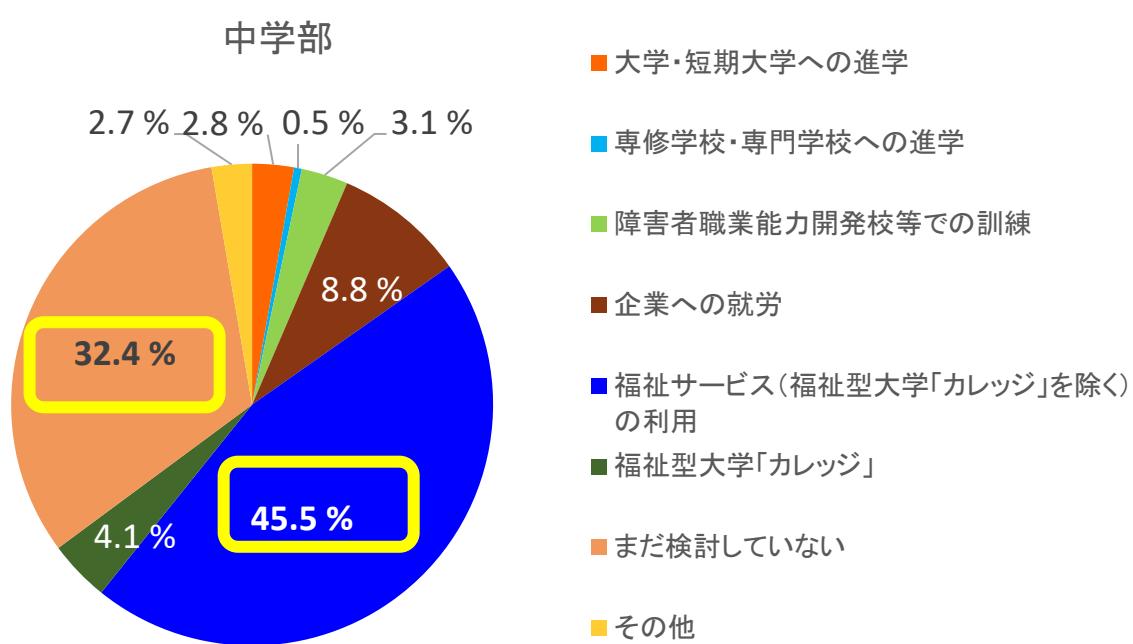
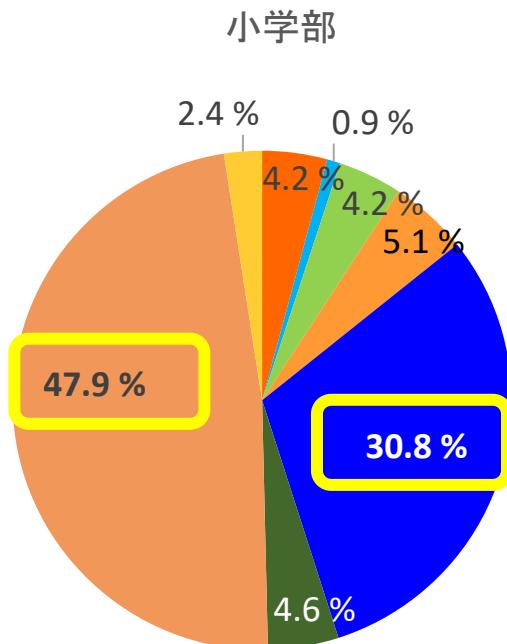
ア 中学部卒業後に希望する進路先（障害種別）

	視覚障害 教育部門	聴覚障害 教育部門	肢体不自由 教育部門	知的障害 教育部門	病弱 教育部門
特別支援学校高等部への進学	68.8%	69.2%	86.6%	81.3%	50.0%
高等学校への進学	6.3%	9.6%	3.4%	2.1%	50.0%
専修学校等への進学	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
障害者職業能力開発校等での訓練	0.0%	0.0%	0.4%	0.7%	0.0%
企業への就労	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	0.0%	0.0%	0.5%	0.7%	0.0%
福祉型大学「カレッジ」	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
まだ検討していない	25.0%	20.5%	8.0%	14.2%	0.0%
その他	0.0%	0.7%	0.9%	0.6%	0.0%



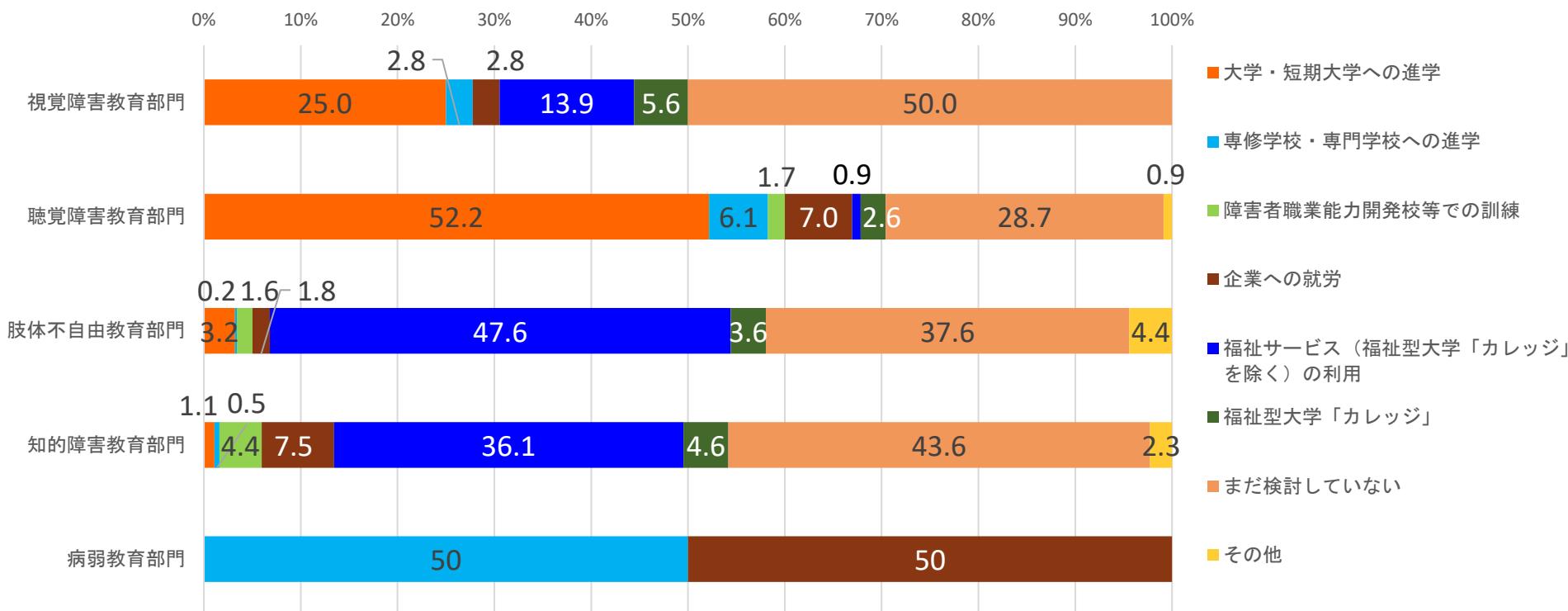
イ 高等学校段階卒業後に希望する進路先 【高等部（高等学校等を含む）】との回答選択者

	小学部	中学部
大学・短期大学への進学	4.2%	2.8%
専修学校・専門学校への進学	0.9%	0.5%
障害者職業能力開発校等での訓練	4.2%	3.1%
企業への就労	5.1%	8.8%
福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	30.8%	45.5%
福祉型大学「カレッジ」	4.6%	4.1%
まだ検討していない	47.9%	32.4%
その他	2.4%	2.7%



イ 高等学校段階卒業後に希望する進路先（障害種別）

	視覚障害 教育部門	聴覚障害 教育部門	肢体不自由 教育部門	知的障害 教育部門	病弱 教育部門
大学・短期大学への進学	25.0%	52.2%	3.2%	1.1%	0.0%
専修学校・専門学校への進学	2.8%	6.1%	0.2%	0.5%	50.0%
障害者職業能力開発校等での訓練	0.0%	1.7%	1.6%	4.4%	0.0%
企業への就労	2.8%	7.0%	1.8%	7.5%	50.0%
福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	13.9%	0.9%	47.6%	36.1%	0.0%
福祉型大学「カレッジ」	5.6%	2.6%	3.6%	4.6%	0.0%
まだ検討していない	50.0%	28.7%	37.6%	43.6%	0.0%
その他	0.0%	0.9%	4.4%	2.3%	0.0%

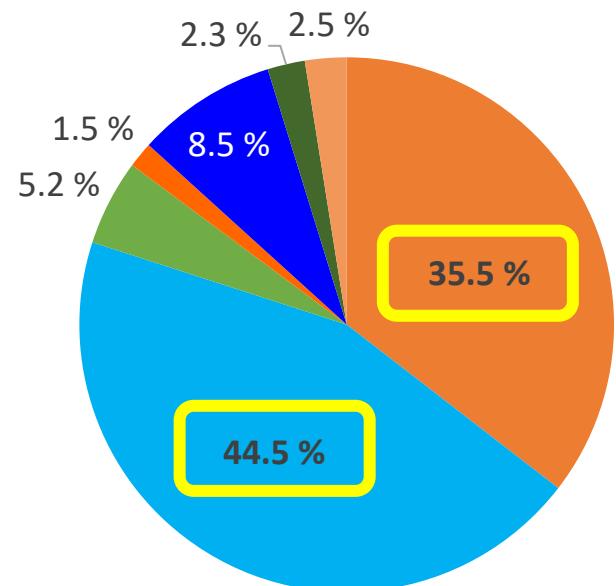


(2) 在学中の学びのニーズ

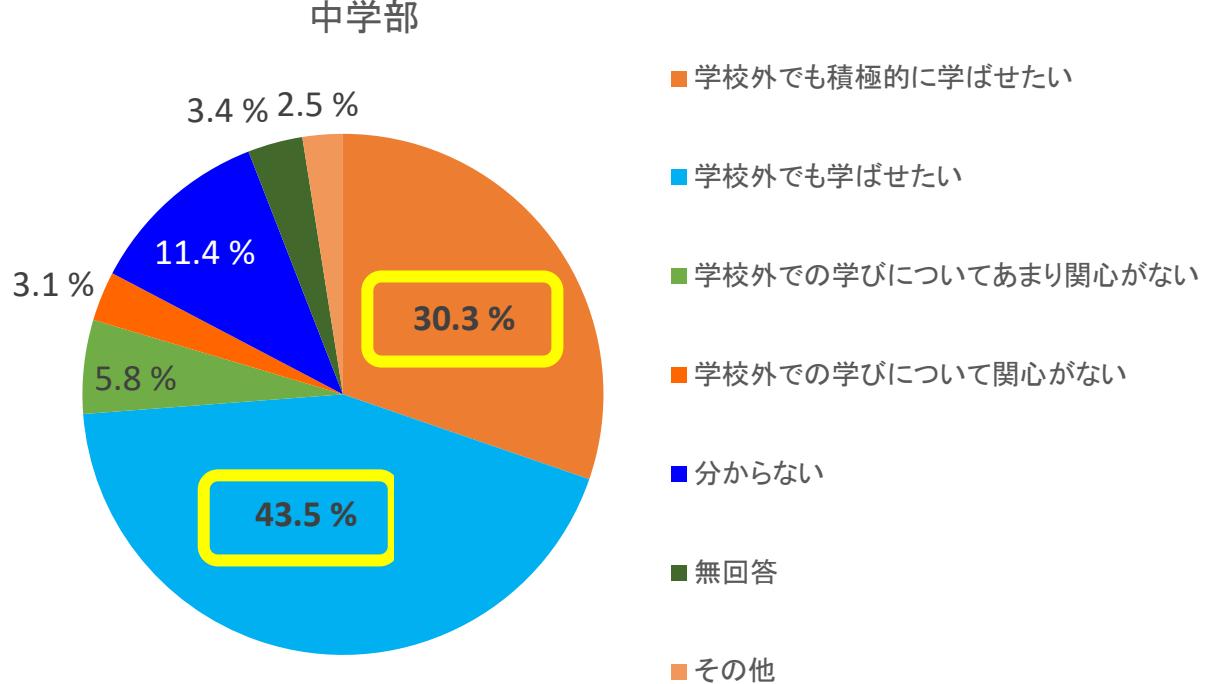
ア 学校外の場での学びに関する要望

	小学部	中学部
学校外でも積極的に学ばせたい	35.5%	30.3%
学校外でも学ばせたい	44.5%	43.5%
学校外での学びについてあまり関心がない	5.2%	5.8%
学校外での学びについて関心がない	1.5%	3.1%
分からぬ	8.5%	11.4%
無回答	2.3%	3.4%
その他	2.5%	2.5%

小学部

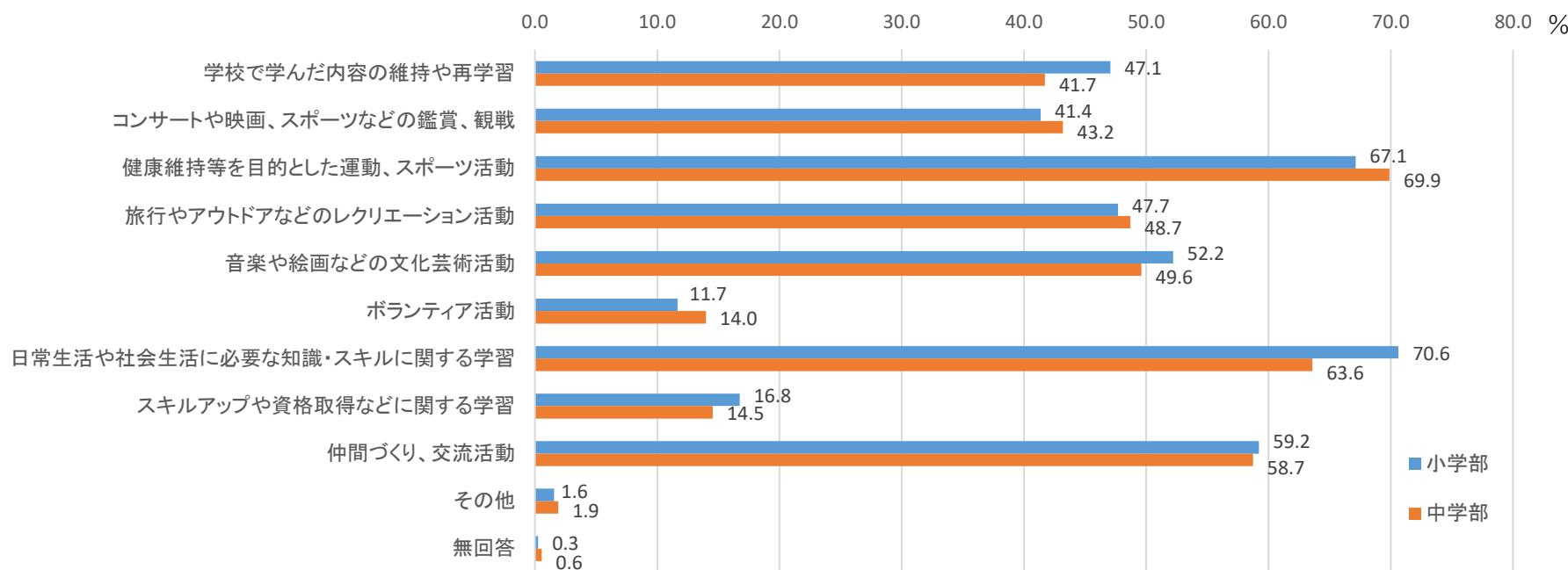


中学部



イ 学校以外で学びたい内容（学びたいとの回答選択者・複数回答）

	小学部	中学部
学校で学んだ内容の維持や再学習	47.1%	41.7%
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	41.4%	43.2%
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	67.1%	69.9%
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	47.7%	48.7%
音楽や絵画などの文化芸術活動	52.2%	49.6%
ボランティア活動	11.7%	14.0%
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	70.6%	63.6%
スキルアップや資格取得などに関する学習	16.8%	14.5%
仲間づくり、交流活動	59.2%	58.7%
その他	1.6%	1.9%
無回答	0.3%	0.6%

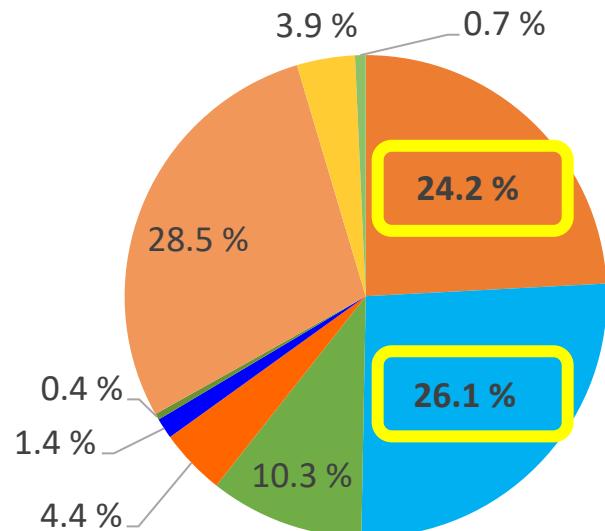


(3) 学校【高等部（高等学校等を含む）】卒業後の学びのニーズ

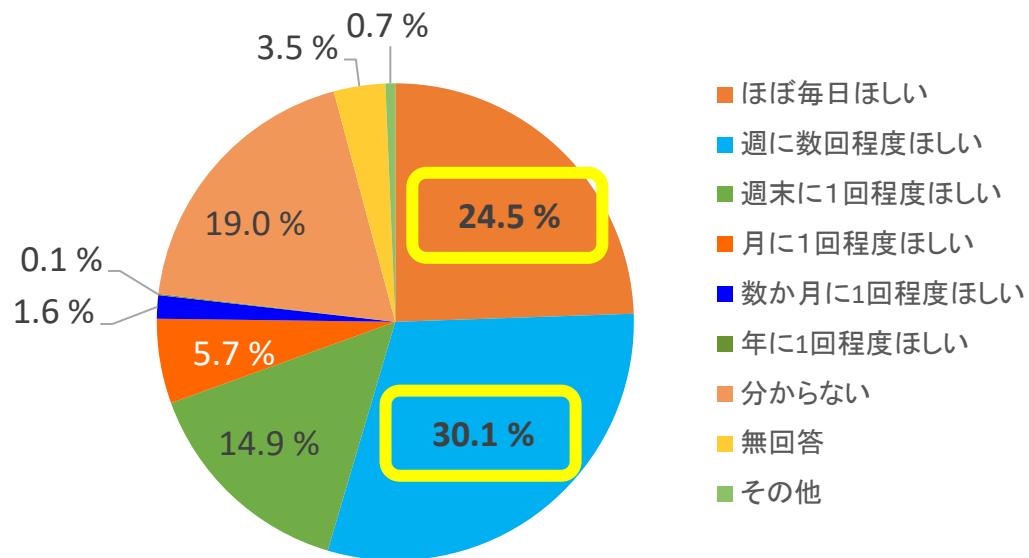
ア 卒業後の学びの機会への要望

	小学部	中学部
ほぼ毎日ほしい	24.2%	24.5%
週に数回程度ほしい	26.1%	30.1%
週末に1回程度ほしい	10.3%	14.9%
月に1回程度ほしい	4.4%	5.7%
数か月に1回程度ほしい	1.4%	1.6%
年に1回程度ほしい	0.4%	0.1%
分からぬ	28.5%	19.0%
無回答	3.9%	3.5%
その他	0.7%	0.7%

小学部

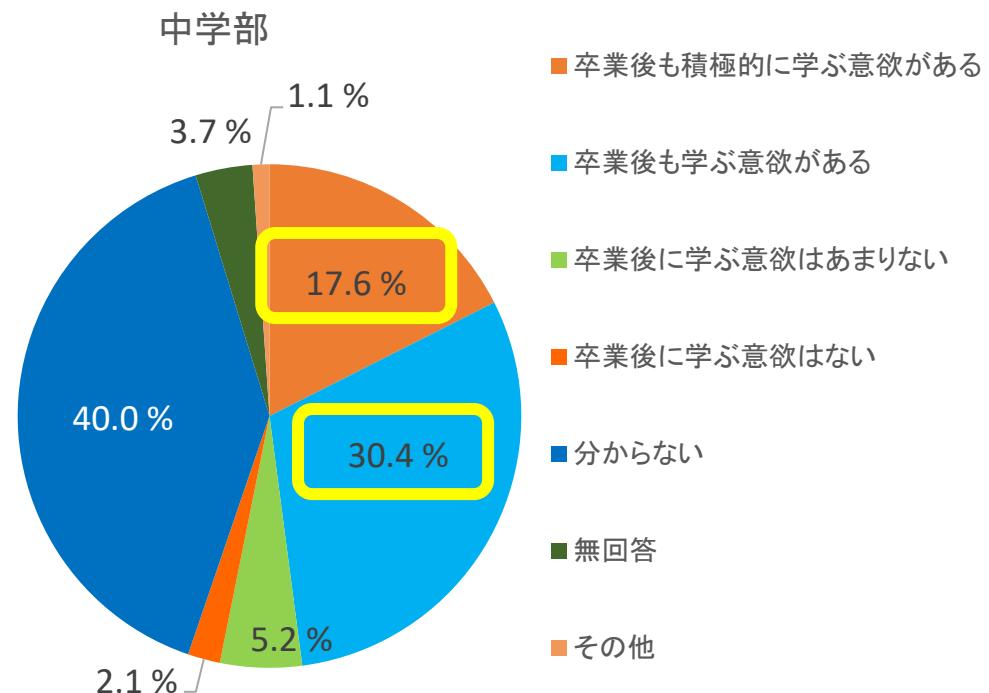
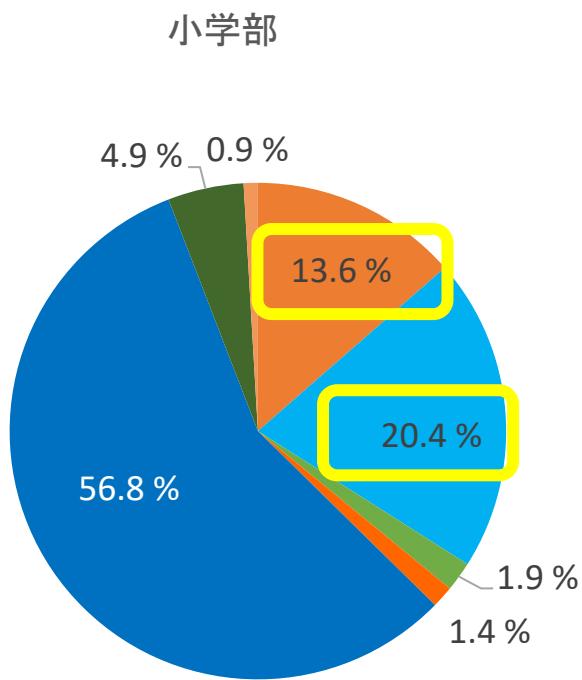


中学部



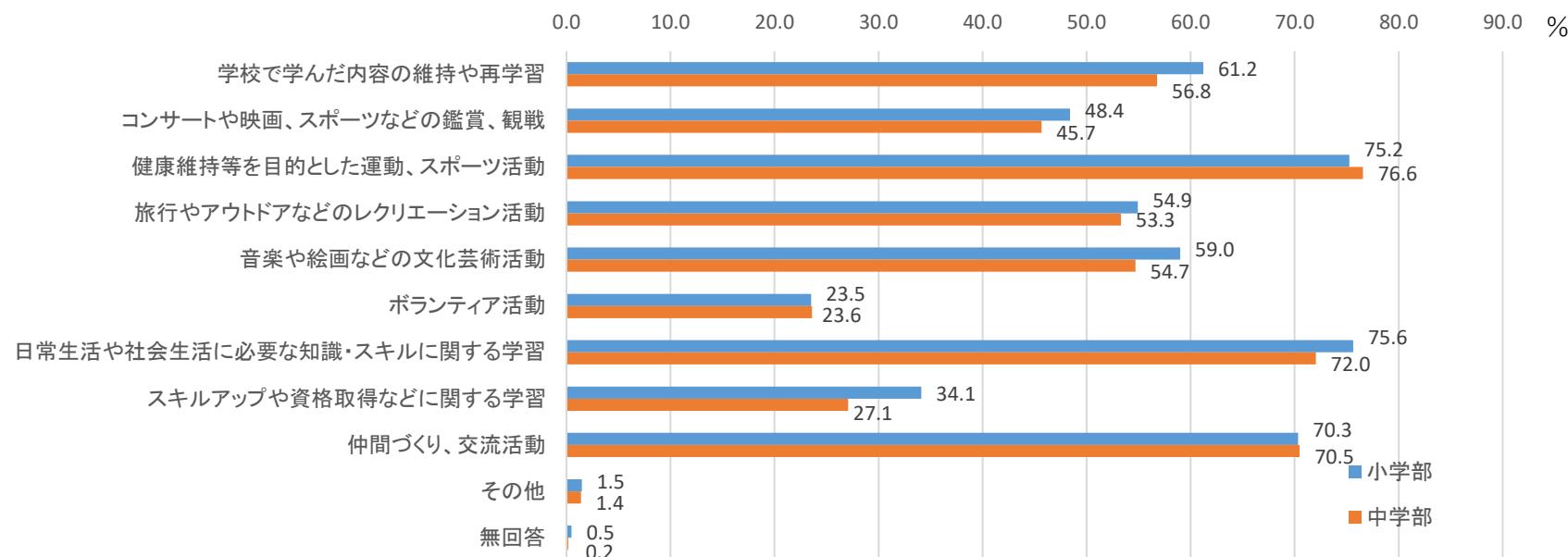
イ 卒業後の学習への意欲

	小学部	中学部
卒業後も積極的に学ぶ意欲がある	13.6%	17.6%
卒業後も学ぶ意欲がある	20.4%	30.4%
卒業後に学ぶ意欲はあまりない	1.9%	5.2%
卒業後に学ぶ意欲はない	1.4%	2.1%
分からぬ	56.8%	40.0%
無回答	4.9%	3.7%
その他	0.9%	1.1%



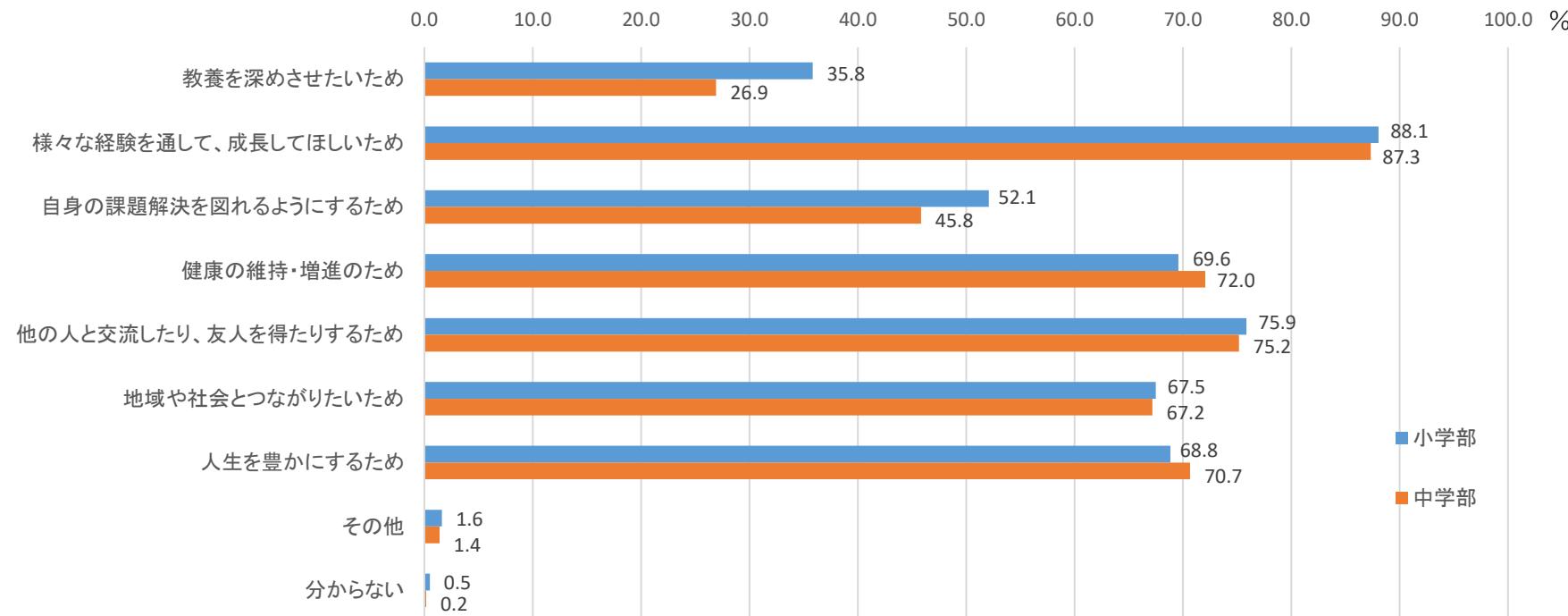
ウ 卒業後に学びたい内容（学びたいとの回答選択者・複数回答）

	小学部	中学部
学校で学んだ内容の維持や再学習	61.2%	56.8%
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	48.4%	45.7%
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	75.2%	76.6%
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	54.9%	53.3%
音楽や絵画などの文化芸術活動	59.0%	54.7%
ボランティア活動	23.5%	23.6%
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	75.6%	72.0%
スキルアップや資格取得などに関する学習	34.1%	27.1%
仲間づくり、交流活動	70.3%	70.5%
その他	1.5%	1.4%
無回答	0.5%	0.2%



工 学びたい理由（学びたいとの回答選択者・複数回答）

	小学部	中学部
教養を深めさせたいため	35.8%	26.9%
様々な経験を通して、成長してほしいため	88.1%	87.3%
自身の課題解決を図れるようにするため	52.1%	45.8%
健康の維持・増進のため	69.6%	72.0%
他の人と交流したり、友人を得たりするため	75.9%	75.2%
地域や社会とつながりたいため	67.5%	67.2%
人生を豊かにするため	68.8%	70.7%
分からぬ	0.5%	0.2%
その他	1.6%	1.4%



III. 今後の方針

○ 学校卒業後の障害者の「学びの場」づくりへの反映

- ・卒業後の学びのニーズが高く、障害者と大学生等が相互理解を深めることができる「**仲間づくり・交流活動**」「**健康維持等を目的とした運動・スポーツ活動**」に関連したプログラムを実施